

令和7年度 学校評価

香芝市立三和小学校

教育目標		自ら学び、心豊かに たくましく生きる子どもの育成										教育目標		自ら学び、心豊かに たくましく生きる子どもの育成									
運営方針		知・徳・体の調和のとれた心身とも健康でたくましい児童の育成をめざすとともに、生涯学習の基礎となる教育実践に努める。										運営方針		知・徳・体の調和のとれた心身とも健康でたくましい児童の育成をめざすとともに、生涯学習の基礎となる教育実践に努める。									
前年度の課題		・児童の学習に対する意識の低さがみられる一方で、年度初めに比べ「授業は分かりやすい」と感じる児童の割合が増加している。 ・自尊感情は校内で比較したところ上昇傾向にあるが、国や県の平均に届かない分野が見られる。										前年度の課題		・児童の学習に対する意識の低さがみられる一方で、年度初めに比べ「授業は分かりやすい」と感じる児童の割合が増加している。 ・自尊感情は校内で比較したところ上昇傾向にあるが、国や県の平均に届かない分野が見られる。									
本年度の重点目標		・楽しいと感じる授業の創造。勉強を少しでも好きにさせる。 ・ 基礎学力及び学習規律の定着 。低学力の児童も取り組みやすいスモールステップを用いた授業づくり。 ・ 子どもたちの光る場面を常に探し活かすことによって、いきいきとした笑顔あふれる学級づくりを目指す。										本年度の重点目標		・楽しいと感じる授業の創造。勉強を少しでも好きにさせる。 ・ 基礎学力及び学習規律の定着 。低学力の児童も取り組みやすいスモールステップを用いた授業づくり。 ・ 子どもたちの光る場面を常に探し活かすことによって、いきいきとした笑顔あふれる学級づくりを目指す。									
教育活動や 分掌等	評価項目	具体的目標	具体的方策・評価指標など	中間	期末	児童	保護者	成果と課題・改善策	教育活動や 分掌等	評価項目	具体的目標	具体的方策・評価指標など	職員	児童	保護者								
学習	学力向上	基礎学力の定着	勉強が楽しいと言える児童を70%以上にする。	2.9	3.1	2.9	2.5	勉強が好きですと答えた児童の割合は70%を超えた。しかし、教科や学年によっては70%を下回っている部分もある。また、保護者が自分の子どもは勉強が好きであると認識する割合は、教職員や児童と比べて低い。「勉強が楽しい・できた」経験の積み重ねが「好き」につながると考えているので、2年間の取組を継続するとともに、児童の態度に沿って学期末に国語と算数に関して児童へアンケートを行い、授業の視点を数値化することにより、教員の授業改善に生かした。学期末のアンケートで「授業がわかりやすい」と回答する児童の割合は、学年平均80%以上を達成した。継続して取り組むことで、結果がついてくることを教員が経験しているため、どの部分に指導が必要かを分析し、今後の取組に生かしたい。	学習	学力向上	基礎学力の定着	勉強が楽しいと言える児童を70%以上にする。	児童に勉強を少しでも楽しくさせる取り組みを進めている。	勉強することが楽しい。	お子さんは、楽しんで勉強している。								
		指導方法の工夫	どの児童も取り組みやすいスモールステップを用いた授業づくりをする。	3.1	3.2	3.5	3.4	貸出冊数を1冊から2冊にして、業間も図書室を開館し、貸出をできるようにした。各クラス図書室の時間も確保していただいたので、貸出冊数を増やすことができた。『うちどく』や『えのほんひろば』を継続・改善しつつ、電子図書館の活用を進めたり、保護者とともに読書を進める取組を行ったりしていきたい。			指導方法の工夫	どの児童も取り組みやすいスモールステップを用いた授業づくりをする。	どの児童も取り組みやすいスモールステップを用いた授業づくりを行なっている。	勉強で、できないことやわからないことがあっても、少しずつできるようになったり、わかるようになったりしている。	お子さんは、勉強でできないことやわからないことがあっても、少しずつできるようになったり、わかるようになったりしている。								
		読書指導の充実	国語科や休み時間の貸出を推進し、毎週1冊以上の本を読む児童を70%以上にする。	3.2	3.2	3.1	2.4	貸出冊数を1冊から2冊にして、業間も図書室を開館し、貸出をできるようにした。各クラス図書室の時間も確保していただいたので、貸出冊数を増やすことができた。『うちどく』や『えのほんひろば』を継続・改善しつつ、電子図書館の活用を進めたり、保護者とともに読書を進める取組を行ったりしていきたい。			読書指導の充実	国語科や休み時間の貸出を推進し、毎週1冊以上の本を読む児童を70%以上にする。	読書活動の充実に向けた指導を進めている。(一週間に1冊は本を読むように)	週に1冊は本を読んでいる。	お子さんは、楽しんで読書をしている。								
研究	主体的・対話的で深い学びを実現する国語科学習の創造	国語科学習の指導法の工夫と向上	「書くこと」を中心に力を高める国語科学習の指導法や授業づくりの研究を進める。	2.8	2.8	3.2	2.6	昨年度の反省から、「書く」の単元に絞って2本の校内授業研究に取り組み、研修を深めることができた。今年度は苦手な児童が書いてみようと思えるようにスモールステップで取り組んだ。来年度はこのスモールステップをさらに深め、三和小学校としての取組をまとめていきたい。	研究	主体的・対話的で深い学びを実現する国語科学習の創造	国語科学習の指導法の工夫と向上	「書くこと」を中心に力を高める国語科学習の指導法や授業づくりの研究を進める。	「書くこと」を中心に、児童の力を高める系統的な国語科学習の指導法や授業づくりの研究を進めている。	国語の学習で、文章をたくさん書けるようになってきている。	お子さんは、文章をたくさん書けるようになってきている。								
		児童が取り組みやすいスモールステップを用いた「かくかくチャレンジ」の授業づくりをする。	2.8	2.9	3.1	児童がやってみようと思える教材づくりや雰囲気づくりをしたことで、多くの児童が楽しんで取り組むことができた。「書く」ことに自信をもたせることが力を伸ばす上で大切であると考えているので、来年度もこの部分を大切に取組を進めていきたい。	児童が取り組みやすいスモールステップを用いた「かくかくチャレンジ」の授業づくりをする。	かくかくチャレンジタイムで児童は楽しんで取り組むことができた。			かくかくチャレンジタイムは楽しかった。												
		児童の「書く」力を高めるような「かくかくチャレンジ」の授業づくりをする。	2.8	3.0	3.2	「かくチャレンジ」の取組は2年目に入り、各学年で様々な取り組みをした。来年度は、本年度の取組を生かしつつ、学年間の系統性や学習指導要領の内容とのつながりや考えながら、児童の「書く」力をさらに伸ばすことができる取組にしていきたい。また、ファイルの利用方法について検討し、家庭への周知も行っていきたい。	児童の「書く」力を高めるような「かくかくチャレンジ」の授業づくりをする。	4月より、かくかくチャレンジタイムで児童の書く力を高めることができた。			かくかくチャレンジタイムで書く力はついたと思う。												
体育	体力の向上	進んで運動に取り組む児童の育成	さわやかタイムを実施し、児童の体力の向上と運動の楽しさを感じられるような内容の充実をはかるさわやかタイムに楽しんで取り組む児童85%を目指す。	3.2	3.2	3.5	3.2	児童の「さわやかタイムに楽しんで参加することができている」の項目が前年度に比べてポイントが増えている。今年度のさわやかタイムは、どの児童も前向きに取り組むことができた。今後もワークシート等を活用して、児童の体力を高める取組を継続していく。体力テストの弱点項目に特化した遊びに集中して取り組んでいく。	体育	体力の向上	進んで運動に取り組む児童の育成	さわやかタイムを実施し、児童の体力の向上と運動の楽しさを感じられるような内容の充実をはかるさわやかタイムに楽しんで取り組む児童85%を目指す。	児童と共に体力づくりに取り組んだり、運動の楽しさを味わえるような工夫をしてさわやかタイムを進めている。	運動することが好きだ。	お子さんは、外で楽しく遊んだり、運動したりしている。								
					3.5	3.3							さわやかタイムに、楽しんで参加することができている。	お子さんは、さわやかタイムに楽しんで参加している。									
人権教育	人権を尊重する心を育む	人権教育の充実	くらしの中にある様々な差別(障がい者問題など)や生命の大切さについて、正しい見方や考え方を育てる。	3.5	3.5	3.6	3.5	ほかほかタイムやDVD視聴、月1回の人権作文の放送を継続していく。児童向けのアンケートでも、高い数値がでている。読み聞かせを行うことで、様々な問題について考えるきっかけとはなっていないが、領域が広がると児童が理解しているか疑問が残る。深めるためにも研修の機会をとり、教師自身が人権感覚を養った上で児童へ還元していく。	人権教育	人権を尊重する心を育む	人権教育の充実	くらしの中にある様々な差別(障がい者問題など)や生命の大切さについて、正しい見方や考え方を育てる。	自分がされていやな事、自分が言われていやな事を他の人にしてはいけないという指導が徹底できた。	友だちがいやなことをしたり言ったりしないで、友だちを大切にしている。	お子さんは、友だちがいやなことをしたり言ったりしないで、友だちを大切にしている。								
		豊かな人間関係づくり	ちがいを認め合い、支え合うことのできるなまかま集団を育成する。	3.2	3.5	3.4	3.2	配慮を要する児童を理解をする時間は他の学年の児童の様子を知ることができている良い機会となっている。会議後や終礼などでも気になる児童について話をする時間をとる。すべての教師が子どもたちのことを理解し、同じ方向を向いていることが大切である。			豊かな人間関係づくり	ちがいを認め合い、支え合うことのできるなまかま集団を育成する。	自分の思いを出し合い、ちがいを認め合える学級(集団)づくりを進めている。	学級で自分の気持ちを話すことができ、友だちから大切にされている。	お子さんは、自分の気持ちを話すことができ、友だちから大切にされている。								
道徳教育	豊かな心を育む	道徳の時間の充実	児童に豊かな心を育む魅力的な授業を展開する。	3.1	3.2	3.3	3.5	どの学級でも、板書を工夫しながら授業を進めることができた。子どもたちの意見を共有しやすくなり、考えを深めることができた。また、道徳ノートを活用し、自分の考えと友だちの考えを交流する時間を持つようにした。今後も週1回の道徳の授業を大切にいくとともに、魅力的な授業をするために工夫していきたい。	道徳教育	豊かな心を育む	道徳の時間の充実	児童に豊かな心を育む魅力的な授業を展開する。	週一時間の道徳の授業を大切にし、児童が物事を多角的多面的に考え、自己の生き方について考えを深めるための授業づくりに努めている。	道徳の学習で自分の意見を言ったり友達の意見を聞いたりして、考えを深めることができている。	お子さんは、してよいことといけなことを考え、行動する力が付いてきている。								
特別活動	特別活動の充実	学級活動の充実	学級の一員として楽しく過ごせるよう、めあてをもち、協力して話し合いや集会などを行い、望ましい人間関係を築く。	2.9	3.0	3.6	3.6	教員の数値が上がらないのが気になる。学校行事が忙しく、学級での時間が十分とれていなかったり、学級活動や学級会の持ち方が難しいと感じていたりするのかもしれない。学級会セットを活用できるよう充実させたり、参考資料等を提示したり引き続き発信していきたい。	特別活動	特別活動の充実	学級活動の充実	学級の一員として楽しく過ごせるよう、めあてをもち、協力して話し合いや集会などを行い、望ましい人間関係を築く。	学級の一員としてめあてをもたせ、協力して話し合いや集会活動ができるような学級活動を進めている。	みんなと協力して話し合いや集会などの学級活動を行っている。	お子さんは、係や集会などの学級活動に楽しく参加している。								
		学校行事の充実	自分らしさを発揮し、めあてをもって集団への所属感や連帯感を深める活動を行う。	3.2	3.2	3.8	3.7	どの学年も子どもたちがめあてをもって活動し、振り返りをして次に生かせるよう進めていくことができた。今後も継続して取り組んでいきたいが、子どもたちに余白の時間がなく、ひとつひとつじっくり取り組めないという声も聞かれた。行事の内容の見直し・簡素化など工夫は必児童の70%以上は、姿勢に気を付けて学習や食事をしている。家庭でも姿勢を意識できるように、姿勢チェックシートは継続していきたい。取り組む時期や回数、内容については見直し、チェックシートがその時だけのものにならないようにしたい。また、学校保健委員会へ出席してもらえるように、呼びかけていきたい。			学校行事の充実	自分らしさを発揮し、めあてをもって集団への所属感や連帯感を深める活動を行う。	学校行事へ自分なりのめあてをもって参加させ、できたことを認め励ます指導を進めている。	運動会や遠足などの学校行事にめあてをもって参加している。	お子さんは、運動会や遠足などの学校行事に楽しく参加している。								
健康安全	健やかな心身の育成	姿勢指導	児童にアンケートを行い、立腰やよい姿勢を意識している児童を70%以上を目指す。	3.0	3.1	3.2	3.0	アンケートでは、80%近くの児童が食事のマナーを守ったりバランスよく食べたりできていると回答した。来年度は、正しい配膳の仕方や食べるときは食器を持つ等、更に食事のマナーの向上に努めていきたい。	健康安全	健やかな心身の育成	姿勢指導	児童にアンケートを行い、立腰やよい姿勢を意識している児童を70%以上を目指す。	学習時に半腰やよい姿勢の意識が高まるような日々の指導を進めている。	「立腰」に気を付けて、学習や食事をしている。	家庭では、姿勢がよくなるように環境を整えたり、声をかけたりしている。								
		給食指導	児童にアンケートを行い、食事のマナーを守り、バランスよく食べる児童を80%以上を目指す。	3.2	3.2	3.4	3.2	アンケートでは、80%近くの児童が食事のマナーを守ったりバランスよく食べたりできていると回答した。来年度は、正しい配膳の仕方や食べるときは食器を持つ等、更に食事のマナーの向上に努めていきたい。			給食指導	児童にアンケートを行い、食事のマナーを守り、バランスよく食べる児童を80%以上を目指す。	食事のマナーを守り、バランスよく食べる習慣が身に付くような指導を進めている。	給食では、好ききらいをせずに、何でもよく食べている。	家庭では、食事のマナーを守り、バランスよく食べることができるようになっている。								
生徒指導	きまりを守りよりよく生活しようとする態度の育成	挨拶の励行	友達や教職員、来客者に挨拶や会釈をする習慣を身につけ、挨拶や会釈を意識する児童85%以上を目指す。	2.9	3.1	3.2	2.9	自分から進んであいさつができているという児童の割合が約80%である。目標である85%には届いていない。教師に対してだけでなく、児童同士、地域の方など誰に対しても進んでできるように育てていきたい。また、声掛けだけでなく委員会等を活用し何か取組ができたらより多くもくもくクリーニングを意識して掃除に取り組んでいる児童は約85%いる。ほとんどの児童がもくもくクリーニングを意識することができているが、騒がしくなったり、時間いっぱい掃除ができなかったりまだまだ徹底できていないと感じる。教員の結果が80%程度であることから、一人一人のはたらきかけが足りなかった部分があると考える。生徒指導部を中心に教員の意識を高めていくこと	生徒指導	きまりを守りよりよく生活しようとする態度の育成	挨拶の励行	友達や教職員、来客者に挨拶や会釈をする習慣を身につけ、挨拶や会釈を意識する児童85%以上を目指す。	誰にでも自分から進んで挨拶ができる児童の育成に努めている。	毎日、自分から進んであいさつをしている。	お子さんは、自分から進んで挨拶をしている。								
		掃除の徹底	掃除を熱心に取り組もうと意識する児童85%以上を目指す。	2.9	3.0	3.3	2.7	ほとんどの児童がもくもくクリーニングを意識することができているが、騒がしくなったり、時間いっぱい掃除ができなかったりまだまだ徹底できていないと感じる。教員の結果が80%程度であることから、一人一人のはたらきかけが足りなかった部分があると考える。生徒指導部を中心に教員の意識を高めていくこと			掃除の徹底	掃除を熱心に取り組もうと意識する児童85%以上を目指す。	熱心にもくもくクリーニングに取り組むことができない児童の育成に努めている。	もくもくクリーニングを意識して進んで掃除に取り組んでいる。	お子さんは、家庭でも家の仕事をしたり、掃除をしたりしている。								
学校パートナーシップ	学校と地域との連携	地域との連携	学校と地域との連携を図る。	2.9	2.9	3.0	3.0	地域の協力を得て様々な活動をした。中でも、秋の二上登山は全校遠足としてたくさんの方々と行うことができた。ボランティアや地域の方と情報交換の機会を設け、本校の実態に合わせた今後のコミュニティのあり方を追究していきたい。	学校パートナーシップ	学校と地域との連携	地域との連携	学校と地域との連携を図る。	ボランティアや地域の方と挨拶をしたり情報交換をしたりして、学校の活動を伝えたり協力してもらったりしている。	P T Aの行事や地域の行事に進んで参加している。	保護者は、P T Aの活動や地域の行事に参加している。								

【注】：評価指標を基準に1～4を記入【評価基準】4：100～80% 3：79～50% 2：49～30% 1：29～0% 4：達成できた 3：ほぼ達成できた 2：やや達成できなかった 1：あまり達成できなかった